

「人が輝く」～夢を育み学びの意欲を高めるまちづくり～

# 第6期大樹町生涯学習推進計画

2019年度～2023年度



大樹町教育委員会



# 目 次

第1章 生涯学習推進中期計画の策定について	1
1 計画策定の趣旨	
2 計画の性格	
3 計画の期間	
4 計画の構成	
第2章 大樹町の特性	2
1 自然・地理的特性	
2 人口構成・世帯	
3 産業別就業者構成	
第3章 大樹町が目指す教育の目標と基本方針	3
1 目標	
2 基本方針	
基本方針1 生涯にわたり育てる	
(1) 地域総掛かりで育てる体制づくりの実現	
基本方針2 生涯にわたり学ぶ	
(1) 生涯にわたる学習活動への支援の推進	
(2) スポーツ活動の推進	4
(3) 芸術・文化活動の推進	
第4章 施策項目の構成と重点施策の設定	6
1 施策項目の構成	
2 重点施策の設定	
3 施策項目	7
基本方針1 生涯にわたり育てる	
(1) 地域総掛かりで育てる体制づくりの実現	
施策項目 1 家庭教育支援の充実(重点施策)	
施策項目 2 学校と地域の連携・協働の推進(重点施策)	9
施策項目 3 子どもたちの安全・安心を確保する体制づくり	11
基本方針2 生涯にわたり学ぶ	12
(1) 生涯にわたる学習活動への支援の推進	
施策項目 4 幼児教育の充実(重点施策)	
施策項目 5 少年教育の充実	14
施策項目 6 成人教育の充実(重点施策)	16
施策項目 7 高齢者教育の充実	18
施策項目 8 情報教育の充実	20
施策項目 9 社会教育施設の充実	21
施策項目 10 読書活動の推進	22
施策項目 11 指導体制の充実(重点施策)	24
(2) スポーツ活動の推進	26
施策項目 12 スポーツ活動の充実	
施策項目 13 ミニバレーの振興	28
施策項目 14 社会体育施設の充実	29
施策項目 15 指導者の育成(重点施策)	30
施策項目 16 スポーツ関係団体の育成	31
(3) 芸術・文化活動の推進	32
施策項目 17 芸術文化活動の推進	
施策項目 18 団体・指導者の育成(重点施策)	34
施策項目 19 文化的遺産の保存及び活用の推進	36

## 第1章 生涯学習推進中期計画の策定について

### 1 計画策定の趣旨

大樹町教育委員会では、これまで中長期的な展望に立って教育施策を総合的かつ計画的に推進するため、1992年度から数次にわたって長期的な教育計画を策定してきました。2014年3月には、第5期大樹町生涯学習推進計画を策定し、様々な施策に取り組んできました。

この度策定した計画は、本町の地域の特性を活かしながら、これまで行った各種調査結果、並びに「第5期大樹町総合計画に基づく評価」などから見えた今日的な教育課題の解決と地域創生に向けて、2019年度以降の大樹町が目指す教育の全体像を示したものです。

### 2 計画の性格

この計画は、「大樹町総合計画」が示す政策の基本的な方向に沿って策定する教育分野の特定分野別計画であり、町長が定める町の教育、学術及び文化の振興に関する「大樹町教育大綱」を踏まえて策定したものです。

### 3 計画の期間

2019年度から2023年度までの5年間とします。

### 4 計画の構成

次章以降において、本町が目指す教育の目標を明らかにするとともに、施策項目に関連する現状・課題を示した上で、教育の基本方針や施策の方向性などを示します。

## 第2章 大樹町の特性

### 1 自然・地理的特性

本町は、北海道の南東部、十勝の南に位置し、東は太平洋、西は日高山脈に接しています。日本一の清流歴舟川は町の中央部を流れ、太平洋へと注いでいます。

東西が56.9km、南北は33.5kmで、面積は、815.68km<sup>2</sup>であり、緑あふれる自然に恵まれた町です。

気候は、内陸性で、夏は湿潤で暑く、冬は寒冷なドライゾーンに属し、年間を通して快晴の日が多いのが特徴です。しかし、海岸部は太平洋の影響を受け、夏季には沖合でガス(海霧)が発生します。

### 2 人口構成・世帯

人口は、半世紀にわたり減少が続き、平成31年1月末では、前計画である第5期大樹町生涯学習推進計画策定時(平成25年7月末)の5,912人に対し、約300人減の5,615人となっています。

世帯数は、核家族化や単身者の増加により平成25年7月末の2,650世帯から2,720世帯(平成31年1月末)、1世帯人員数は、2.23人に対し2.06人となっています。

### 3 産業別就業者構成

基幹産業は農業を中心とした第1次産業で、特に酪農は国内有数の大規模経営となっています。

製造業では、大手乳業会社を始めとするチーズ工場や製材工場、魚介類の加工工場などが地元の農林水産物の加工を行っています。

商業は、人口減少や帯広市圏への購買力の流出などにより、事業所数が減少しています。

近年、ロケット産業に関わる就業者や農業に携わる外国人の増加が見られません。

### 第3章 大樹町が目指す教育の目標と基本方針

第6期大樹町生涯学習推進計画(2019年度～2023年度)の上位計画である第5期大樹町総合計画(2014年度～2023年度)では、「～活力とやすらぎあふれるまちづくり～大いなる挑戦の継続」を理念に掲げています。今後、5年間の生涯学習推進計画においてもこの理念を継承し、目標と基本方針を次のとおり掲げます。

#### 1 目標

「人が輝く」～夢を育み学びの意欲を高めるまちづくり～

住民一人ひとりが日常のなかで、豊かな心と郷土愛を育み、夢と生きがいのもてる地域社会をつくれます。

学校教育や文化・スポーツ活動、交流を通じて、自らの意志で自己の充実や生活の向上のために、生涯にわたって学習し、課題に取り組み、学んだ成果を地域で生かせる環境づくりを推進していきます。

#### 2 基本方針

##### 基本方針1 生涯にわたり育てる

###### (1) 地域総掛かりで育てる体制づくりの実現

学校・家庭・地域・行政が一体となり、協働して地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりを推進します。

##### 基本方針2 生涯にわたり学ぶ

###### (1) 生涯にわたる学習活動への支援の推進

生涯学習センターや図書館など、社会教育施設の機能充実や利便性の向上に努めます。生涯にわたる学習を普及・啓発し、学んだ喜びが生きがいにつながる環境づくりに努めます。

(2) スポーツ活動の推進

社会体育施設の計画的な改修整備を行い、拠点を確保していくとともに、それぞれの年齢や体力に応じてスポーツに親しめる場の充実に努め、町民の日常的なスポーツ活動を推進します。

(3) 芸術・文化活動の推進

生涯学習センターを拠点に、町民の自主的な参加・運営を促しながら、地域文化を育みます。また、文化的遺産への関心や保護意識を高めながら、文化財・郷土資料の有効活用や郷土芸能を継承します。

～基本方針と施策項目～

基本方針1 生涯にわたり育てる

(1) 地域総掛かりで育てる体制づくりの実現

- 施策項目 1 家庭教育支援の充実(重点施策)
- 施策項目 2 学校と地域の連携・協働の推進(重点施策)
- 施策項目 3 子どもたちの安全・安心を確保する体制づくり

基本方針2 生涯にわたり学ぶ

(1) 生涯にわたる学習活動への支援の推進

- 施策項目 4 幼児教育の充実(重点施策)
- 施策項目 5 少年教育の充実
- 施策項目 6 成人教育の充実(重点施策)
- 施策項目 7 高齢者教育の充実
- 施策項目 8 情報教育の充実
- 施策項目 9 社会教育施設の充実
- 施策項目 10 読書活動の推進
- 施策項目 11 指導体制の充実(重点施策)

(2) スポーツ活動の推進

- 施策項目 12 スポーツ活動の充実
- 施策項目 13 ミニバレーの振興
- 施策項目 14 社会体育施設の充実
- 施策項目 15 指導者の育成(重点施策)
- 施策項目 16 スポーツ関係団体の育成

(3) 芸術・文化活動の推進

- 施策項目 17 芸術文化活動の推進
- 施策項目 18 団体・指導者の育成(重点施策)
- 施策項目 19 文化的遺産の保存及び活用の推進

## 第4章 施策項目の構成と重点施策の設定

### 1 施策項目の構成

施策項目は、基本方針に沿って、個別・具体的な施策・事業等を体系的に整理したもので、項目ごとに次の内容で構成しています。

#### (1) 現状と課題

「生涯学習に関する意識調査」をはじめ各種調査の結果などを踏まえて、当該施策項目に関連する教育の現状や課題、施策項目の設定の背景などについて記述しています。

#### (2) 施策の方向性

「現状と課題」を踏まえ、当該施策項目の推進に当たっての基本的な考え方を記述しています。

#### (3) 施策の展開

「現状と課題」及び「施策の方向性」を踏まえ、当該施策項目における「施策の柱」と個別・具体的な取組について記述しています。

### 2 重点施策の設定

今年度までの5年間、第5期大樹町生涯学習推進計画(2014年度～2018年度)を推進してきましたが、今年度実施した「生涯学習に関する意識調査」や各社会教育関係団体の会合等で挙がってきた教育課題の中から、喫緊に対応すべきものを計画の重点と位置付け、他部局や社会教育関係団体と連携しながら着実に取り組むこととしました。

重点施策については、PDCA(P:計画・D:実行・C:評価・A:改善)サイクルを活用して教育課題の解決を図るため、「評価の視点」の項目を加え、年度ごとに外部評価と合わせて、事業改善を図ります。



### 3 施策項目

#### 基本方針1 生涯にわたり育てる

##### (1) 地域総掛かりで育てる体制づくりの実現

#### 施策項目1 家庭教育支援の充実(重点施策)

##### ① 現状と課題

- 全国学力・学習状況調査の結果などから、朝食を食べない、就寝時間が遅いなど生活習慣の乱れがある児童生徒の割合が全道平均より高い状況にあります。朝食の欠食や不規則な生活など生活習慣の乱れが、学習意欲や体力・気力低下の一因として指摘されていることから、規則正しい生活習慣の確立が必要です。
- 家庭、学校が連携し地域に根ざした親の学習活動を推進するため、小中学校の家庭教育学級に助成し、継続した活動が行われていますが、小中学校とも保護者の参加者数がかなり少ない状況にあります。
- 近年、核家族化や地域社会のつながりの希薄化等を背景に、子育ての悩みや不安を抱えたままの保護者が孤立している状況にあります。保健福祉課等関係機関と連携した子育てに関する学習機会の場が求められています。

##### ② 施策の方向性

- 子どもの望ましい生活習慣の定着に向けた取組を促進するとともに、認定こども園や小中学校などの関係機関、家庭教育サポート企業等との連携・協働による地域における家庭教育支援活動を支援し、家庭の教育力の向上を図ります。

##### ③ 施策の展開

- 家庭教育に関する広報の充実(家庭教育啓発情報紙の発行)
  - ・ 国の機関や北海道教育委員会が作成した資料(子どもたちの生活習慣や運動習慣等)を活用して、家庭の教育力の向上に関わる啓発活動を行います。

○ 家庭教育学級の充実

- ・ 「大樹町教育の日」の取組やコミュニティ・スクール関連事業を通して、保護者が主体的に運営・活動するPTA組織づくりを推進します。
- ・ 引き続き、PTA連合会や単位PTA活動、家庭教育学級開設に助成するとともに、教育委員会から講師や学習の情報を提供し、家庭教育についての知識の習得や保護者同士の交流を促す家庭教育学級の充実を図ります。

○ 幼児・小中学生等世代別の子育てに関する学習機会の充実

- ・ 認定こども園や小中学校などの関係機関や家庭教育サポート企業等と連携して、親子のふれあいの場の提供、運動習慣や食習慣など子どもの望ましい生活習慣向上に関する事業を行います。

④ 評価の視点

○ 子育て支援、家庭教育支援に関わる指導者・人材を活用し、小中学校において家庭教育学級を開催すること

- ・ 在籍する児童生徒の家庭数に対する参加者率
- ・ 参加者の満足度

○ 幼児・小中学生等世代別に合わせた学習機会を提供すること

- ・ 参加人数
- ・ 参加者の満足度

## 施策項目2 学校と地域の連携・協働の推進(重点施策)

### ① 現状と課題

- 地域社会の結びつきが弱まり、地域の教育力低下が懸念されています。また、町内会において地域の子ども会活動等を行っているものの、子どもたちが地域住民と関わる機会は少なくなっています。引き続き、小中学校が必要とする学校支援活動に対して、活動を支援できる地域住民を養成するとともに、地域住民が学校の教育活動への支援や学校運営に参画できる体制づくりをより一層推進していく必要があります。
- 少子化による生徒の減少から、大樹高等学校においても、生徒の確保が困難な状況となっています。「北海道大樹高等学校活性化推進協議会」を中心に、学校存続に向けた各種の運動を展開しています。大樹中学校の卒業生数は更に減少していく見込みであることから、教育委員会と小中高3校の連携を強め、魅力ある学校づくりを展開して、地元からの進学率を高めていく必要があります。

### ② 施策の方向性

- 学校と地域が一体となって子どもたちの成長を支えるため、コミュニティ・スクール関連事業や小中高連携事業を活用し、地域の教育力を活かした学校づくりを図るとともに、地域の特色を活かした子どもの活動拠点づくりの推進を図ります。

### ③ 施策の展開

- 地域学校協働活動の充実
  - ・ コミュニティ・スクール関連事業を通して、学校と地域が連携・協働しながら社会全体の様々な機能を活用して教育活動の充実を図ります。
- 小中高連携の充実
  - ・ 「大樹町教育の日」講演会や各種出前授業など大樹町小中高連携教育推進委員会関連事業を支援し、学校の特性や地域の特色を活かした取組を実施します。

- 地域の特色を活かした子どもの活動拠点づくりの推進
  - ・ すべての子どもが放課後や休日等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができるよう、地域の実情に応じた子どもの活動拠点づくりを支援します。

④ 評価の視点

- 保護者や地域住民が参画した学校の教育活動や様々な活動
  - ・ 活動数
  - ・ 活動に関わった人数(学校サポーターなど)
  - ・ 児童・生徒、教師の満足度
  - ・ ボランティアの満足度

### 施策項目3 子どもたちの安全・安心を確保する体制づくり

#### ① 現状と課題

- 全国的に児童生徒の交通事故や不審者による声かけ事案が多く発生するなど、地域において子どもたちの安全を確保して、守り育てることができる環境づくりが求められています。通学路周辺の地域住民による声かけなど、地域全体で子どもを守り育てるという意識を高める必要があります。

#### ② 施策の方向性

- 学校・家庭・地域・行政が連携した取組を通じて、子どもを犯罪や交通事故、自然災害等から守るため、必要な知識を身に付けさせるなど危機対応能力を育成するとともに、学校や地域と連携して学校や地域の安全確保対策に取り組めます。

#### ③ 施策の展開

- 大樹町青少年健全育成推進町民の会の支援
  - ・ 青少年の健全育成に係る活動の機会、場の提供などを充実させるための支援を行います。

## 基本方針2 生涯にわたり学ぶ

### (1) 生涯にわたる学習活動への支援の推進

#### 施策項目4 幼児教育の充実(重点施策)

##### ① 現状と課題

- 近年、幼児期に忍耐力や協調性といった非認知的能力を身に付けることが、その後の生活に大きな差を生むという研究成果など幼児教育の重要性への認識が高まっています。
- 現在、図書館と保健福祉課が連携し、乳幼児とその保護者を対象にしたブックスタート事業を実施するとともに、南十勝長期宿泊体験交流協議会(STEP)による親子自然体験活動を実施しています。幼児教育については保健福祉課とも連携した取組のほか、新たにSTEPと認定こども園等の連携による自然体験活動などについても検討する必要があります。
- 子育て支援センター、南十勝こども発達支援センターにおいて、「子育てサロン」や「親子遊び」など親子と関わる取組を行っています。関連する行政・認定こども園等との協力のもと、相談事業や情報提供、学習機会の提供等を行っていくとともに、社会教育団体・文化団体・体育団体や学校教育関係団体等との連携もより緊密に図っていく必要があります。

##### ② 施策の方向性

- 認定こども園や保健福祉課と連携して、子育て支援活動の推進を図ります。

##### ③ 施策の展開

- 幼児教育に関する学習機会の充実
  - ・ 多くの親が集まる機会を活用した子育て講座やブックスタートの普及を促進します。
- 乳幼児教育に関わる機関・団体との連携
  - ・ 関係機関と連携して「お父さんお母さん似顔絵展」や「たいき夢アート展」等の取組を推進します。

④ 評価の視点

○ 多くの親が集まる機会を活用した子育て講座

- 講座回数
- 参加した保護者数
- 参加者の理解度

## 施策項目5 少年教育の充実

### ① 現状と課題

- 毎月第2土曜日に親子文化教室として、親子による陶芸教室を開催しています。また、毎年1月にはことぶき大学において「あつまれ！大樹っ子」による世代間交流（一日体験入学）を行っており、児童と高齢者の交流を図っています。参加する子どもたちは、一部の学部に偏る傾向がありますので、他の学部に参加する人数を増やす必要があります。
  
- 現在（平成30年度）は、町内11団体の地域子ども会の幼児・児童・生徒366人が大樹町地域子ども会育成連絡協議会に加盟しています。教育委員会は、協議会を通して各行政区の地域子ども会活動を支援しています。地域子ども会は、特に郡部において年々児童、生徒の人数が減少しており、活動自体が困難な状況にあるため休止せざるを得ない会もありますが、協議会と連携をとりながら今後も継続して活動の支援を図る必要があります。
  
- 「あつまれ！大樹っ子」は、町内の児童に対して週末の子どもの居場所づくり、生活体験や自然体験不足を補う社会教育の場として実施しています。事業がマンネリ化しないよう児童のニーズに応えた魅力あるメニューの提供が必要です。また、今後も外部団体などの人材を活用していくことや中学生や高校生に協力を得て、事業を展開していく必要があります。
  
- 南十勝長期宿泊体験交流協議会（STEP）は、地域の多様な自然資源や人材を活用し、子どもたちの日帰り体験活動や友好都市である吉岡町の子どもたちとの交流など都市と農山漁村との交流事業を実施しています。現在の体制における交流事業が飽和状態となっており、今後さらなる事業の推進にあたり、地域ボランティアを含めた人材確保や人材育成等、事業実施にあたっての体制整備の必要があります。

### ② 施策の方向性

- 豊かな人間性を育み、社会の一員としての自覚を深めさせるため、少年期から学校や家庭、地域において地域の特色を生かした多様な体験活動を推進します。



### ③ 施策の展開

- 親子、世代間交流等のふれあいを重視した体験プログラムの開発
  - ・ 陶芸教室や「あつまれ！大樹っ子」において、外部人材や地域の特色を活かした魅力ある体験プログラムを提供し、親子で体験できる場を設けます。
  
- 地域子ども会活動の育成、支援
  - ・ 地域子ども会主催の事業を開催し、多様な体験活動を通して団体間の交流する機会を設けるなど、地域子ども会育成連絡協議会運営に係る助言・支援を行います。
  
- 少年教育事業の改善と工夫
  - ・ 日本漢字能力検定の機会の提供をはじめ、大樹小学校チャレンジスクールや小中学校芸術鑑賞事業の支援、大樹ジュニアウインドアンサンブル運営費補助、少年の主張十勝大会出場旅費やジュニアリーダーコース参加費の助成など、実態に合わせた事業の改善と工夫を図ります。
  
- 子ども交流事業の推進
  - ・ 南十勝長期宿泊体験交流協議会（STEP）を中心に、学校や地域、市町村教育委員会と連携し、地域が有する教育資源を活かした多様な体験活動に取り組めます。

## 施策項目6 成人教育の充実(重点施策)

### ① 現状と課題

- 青年期には、多くの人との出会いや主体的な学習を通して、社会参加の意欲を高め、連帯感を培っていくことが望ましいが、価値観の多様化等により団体活動に対する意識が希薄になってきている現状があります。将来のまちづくりの担い手としての意識や連帯感を高めるため、青年のニーズに対応した学習機会の提供や地域社会におけるリーダー育成に努めるとともに、関係団体との横の連携強化を図る必要があります。
- 本町において、講座や学級開設に伴う男性参加者の割合が少ない状況です。自主学級開設事業等で、多様化する地域住民のニーズに柔軟に対応できる制度を継続するとともに、地域の課題解決に向けた学習機会の提供についても検討する必要があります。
- 講座や学級開設に関する情報提供は、ホームページの掲載、広報紙やチラシ・ポスターの掲示、無線放送等を通じて実施しています。学習意欲のある住民からの相談に対し、社会教育主事や図書館司書をはじめとする専門職員が中心となって、学習機会や方法を紹介するなど相談体制をより充実させていく必要があります。
- 大樹町地域子ども会育成連絡協議会、大樹町女性団体連絡協議会、大樹町PTA連合会、大樹町青少年健全育成推進町民の会等の団体に助成し、運営や活動を支援しています。一部団体の活動や事業内容が固定化しつつあるので、事業の活性化に向けた改善を図る必要があります。

### ② 施策の方向性

- 生涯学習に対する意識の向上を図るとともに、地域住民一人一人の生涯にわたる学習活動を促進し、地域の実態に即した学習環境づくりに取り組みます。

### ③ 施策の展開

#### ○ 関係団体と連携した研修機会の充実

- ・ 地域住民の学習ニーズに対応した講座を開設するとともに、今日的課題の解決に向けた研修や将来のまちづくりの担い手としての意識や連帯感、人間形成を高める学習を推進します。

#### ○ 魅力ある社会参加活動の推進

- ・ 地域学校協働活動(子ども未来塾、学校支援活動)やボランティア活動の充実を図り、地域住民が地域活動に参画する機会を提供します。

#### ○ 自主学級や講座開設・運営等に関する情報提供や相談体制の整備

- ・ 社会教育主事や図書館司書をはじめとする専門職員が中心となって、学習機会や方法を紹介するなど相談体制を整備し、自主学級や講座に参画しやすい環境づくりを図ります。

#### ○ 社会教育関係団体の自主的活動・運営の活性化に向けた支援

- ・ 団体の求めに応じて、自主的活動・運営の活性化に向けた具体的な助言や支援を行います。

### ④ 評価の視点

#### ○ まちづくりの担い手となるリーダーの育成を図る学習の場の設定

- ・ 開設講座数
- ・ 参加人数

## 施策項目7 高齢者教育の充実

### ① 現状と課題

- ことぶき大学は10学部を設置し、学部の代表で組織される自治会により運営されていますが、企画・運営は実質上難しい状況にあります。一定の能力を備えていても、責任を求められる指導的立場に立つことを望まない高齢者も多いため、役員の引き受け手がなく、事業計画を自主的に立てることができないなどの問題もあります。学生たちの中に自主運営をしていく気運を高める必要があります。
- 学習ニーズについては、聞き取り等で調査しています。高齢者の生きがいを高め、心身の健康を継続させるため、情報収集や意識調査を行う等、学習内容の充実と社会参加意欲の向上を図る必要があります。
- 図書館と保健福祉課が連携したブックスタート事業や図書館での定期的な読み聞かせ活動等で、地域住民が図書館ボランティアとして活動しています。また、社会福祉協議会で支援しているボランティア団体においても、様々な地域活動に参加しています。ボランティア活動に対する意識を高めるとともに、ことぶき大学等で学んだ成果や高齢者の豊かな知識や経験を活かした仕組みづくりを検討する必要があります。

### ② 施策の方向性

- 高齢者が学習に対する意識の向上を高めるため、活動に対する喜びや達成感を感じられるようなプログラム開発、研修体制づくりを行います。

### ③ 施策の展開

- ことぶき大学の充実と自主企画事業の奨励
  - ・ 教養講座をはじめ、日本漢字能力検定などの学びを通じた活動の充実を図り、学生の求めに応じて社会教育主事等の担当者の助言や支援を行い、自主企画事業を推進します。
- 学習成果の発表の場づくり
  - ・ 学習成果を地域住民に伝えるため、ことぶき大学祭や文化祭などにおいて発表する機会を作ります。

- 世代間交流の推進（施策項目5と重複）
  - ・ 小学生対象の「あつまれ！大樹っ子」事業と連携して、日頃学んでいることを活かして世代間交流を推進します。
  
- 学習ニーズの意識調査
  - ・ 日頃から学生の学習ニーズを聞き取り、学びのあるプログラム開発を推進します。
  
- ボランティア活動による社会参加の促進
  - ・ ことぶき大学などで学んだことを地域学校協働活動（子ども未来塾、学校支援活動）や地域のボランティア活動（社会福祉協議会と連携）に活かすことを促進します。

## 施策項目8 情報教育の充実

### ① 現状と課題

- 平成 26 年度までは大樹高等学校開放講座としてパソコン教室を実施していましたが、平成 27 年度からはパソコンを使った年賀状づくりを実施しています。各世代に応じた情報教育に関するニーズを把握し、実施していく必要があります。

### ② 施策の方向性

- 情報社会へ主体的に参画する意欲を醸成し、情報モラルを含む情報活用能力を高めるため、地域住民に対して引き続き情報提供や今日的な課題を解決する取組を推進します。

### ③ 施策の展開

- 情報教育の推進
  - ・ 生涯学習講座や高校開放講座などで今日的な課題を解決する情報教育事業を提供していきます。

## 施策項目9 社会教育施設の充実

### ① 現状と課題

- 町内の生涯学習の拠点施設として、生涯学習センターや図書館等の社会教育施設があり、多方面にわたる学習や文化・芸術に触れる機会を地域住民に提供しています。計画的に設備面の整備や施設間相互の利便性を高めるなど生涯学習活動の場として充実させていくとともに、公民館的機能も兼ね備えることから、学習プログラムや企画イベント等ソフト面の充実・強化が求められています。

### ② 施策の方向性

- 時代の変化や多様化する学習形態・方法に対応するため、社会教育施設の整備を進めるとともに、地域住民に親しまれる学習プログラムや事業展開を推進します。

### ③ 施策の展開

- 社会教育施設の機能充実
  - ・ 施設の老朽化対策として、計画的に改修を行い、社会教育施設の機能の充実を図ります。
  - ・ より多くの地域住民が学びの場として活用するために、魅力あるプログラムを開発・提供を行います。

## 施策項目 10 読書活動の推進

### ① 現状と課題

- 町立図書館は生涯学習センターで運営しているため、図書館機能を十分に有しているとはいえ、所蔵本の6割程度の蔵書しか配架できないほか、閲覧スペースや学習室が整っていない状況です。今後、地域住民に求められる新しい図書館施設のあり方について検討していく必要があります。
- 平成 29 年度に策定した子どもの読書活動の推進を図る「大樹町子ども読書活動推進計画」をもとに、小中学校へ学校司書を派遣し、読書環境の整備や授業の支援等を行うとともに、認定こども園、小中学校、学童保育所への移動図書館車の運行により、子どもの生活の場により多く本と触れあう機会を設けています。引き続き、学校図書館への支援を進めるとともに、子どもの生活基盤である家庭においても「子どもの読書活動」への理解を深める方策を検討する必要があります。
- 町立図書館では、図書館ボランティアと連携して土曜おはなし会等読み聞かせの会を定期的に行い、親子で参加できる場を提供しています。今後も、子どもの読書への意欲を高める新たな方策を検討する必要があります。

### ② 施策の方向性

- 「大樹町生涯学習推進計画」や「大樹町子どもの読書活動推進計画」を踏まえ、学校・家庭・地域における読書活動を推進し、地域住民の読書習慣の確立に努めるとともに、町立図書館や学校図書館における読書環境の充実を図ります。

### ③ 施策の展開

- 図書館施設の整備の検討
  - ・ 新しい図書館施設のあり方について検討するとともに、既存の施設でも地域住民が安心・安全に利用できる施設整備に努めます。



○ 子ども読書活動の推進

- ・ 学校や地域における「朝読(あさどく)・家読(うちどく)運動」の普及、啓発活動を通して、本と触れあえる機会を設けます。

○ 教育機関、団体との連携による本とのふれあい活動の支援

- ・ 町立図書館や学校図書館と地域のボランティア等との連携により、子どもをはじめすべての地域住民に対して読書に親しむ機会を増やす取組を行います。

## 施策項目 11 指導体制の充実(重点施策)

### ① 現状と課題

- 自主学級や学習サークル等の活動を通じて、参加者の中から少しずつ指導者やリーダーが育っています。比較的若い世代のうちから学習活動に参加することにより、学習者から指導者になるケースが多くなることから、学習情報やサークル情報の提供など若い世代に対する自主的な学習活動を促す取組が必要です。
- 指導者が高齢化等により減少し、不足している一方で、活動している参加者から指導者となり活躍している人もいます。新たな指導者の発掘や養成を行うとともに、指導者バンクの作成・活用に加えて、研修機会や助成制度の検討を行う必要があります。
- 平成 29 年度に職員 1 名が社会教育主事として発令されているほか、同年より3年間の任期で北海道教育委員会から社会教育主事が派遣されています。町民の学習機会の充実、生涯学習指導者の養成、学校・家庭・地域の連携を図る生涯学習や社会教育事業全体のコーディネート業務など、ソフト面の充実及び継続的な推進を図るためには、専門職員である社会教育主事の継続的な配置及び複数配置の必要があります。

### ② 施策の方向性

- 社会教育主事をはじめとした社会教育に係る指導者の人材育成に取り組むとともに、地域課題の解決に向けた活動により多くの住民が参画できる環境を整えます。

### ③ 施策の展開

- 学習者から指導者へと導く支援体制づくり
  - ・ 中高生を対象にした少年の主張十勝地区大会出場やジュニアリーダーコース参加に係る旅費等の助成、一般への生涯学習講座や大樹高校学校開放講座等の学びの場の提供、自主学級開設や地域学校協働活動の支援を通して、学習から活動へ、活動から指導へと指導者の育成に向けたサイクルの構築づくりを推進します。

- 社会教育主事等専門職員の配置・研修
  - ・ 地域住民に専門的・技術的な助言指導をする社会教育主事の役割や重要性について広く周知することを通して、社会教育主事の活用を促し、社会教育主事の必要性を高めるとともに、今後も社会教育主事講習への派遣を行い、継続的な配置及び複数配置を目指していきます。

④ 評価の視点

- 指導者の育成やその活動を支援する体制
  - ・ 育成に関わる講座や研修会数
  - ・ 参加者数
  - ・ 指導者登録数

## (2) スポーツ活動の推進

### 施策項目 12 スポーツ活動の充実

#### ① 現状と課題

- 大樹町体育連盟と連携を図りながら、その加盟団体の支援を行い、地域住民のスポーツ活動を推進しています。保健福祉課とも連携を図りながら、地域住民の体力づくりや健康増進を推進する取組を検討する必要があります。
- 子どもから一般向けのスポーツ教室を開催し、知識や基本技術を習得させるとともに、幅広い地域住民がスポーツに親しむ機会を提供しています。スポーツ教室では、初心者を対象とした教室が多いため、参加者が低年齢化しています。今後、中級・上級者向けの教室の開催も検討するとともに、各世代に合わせたスポーツを親しむ機会を提供していく必要があります。
- 大樹町体育連盟加盟団体が中心となって各種スポーツ大会を開催していますが、人口減少や高齢化等により、参加者や審判員等が減少傾向にあり、大会運営に支障をきたしています。魅力あるスポーツイベントの工夫や、審判員養成のための資格取得助成制度や講習会等を開催する必要があります。
- 大樹海洋スポーツ少年団や学校等の団体に対して海洋スポーツの普及促進を図っています。安定的な指導者の確保や大樹海洋スポーツ少年団員の加入促進を図るとともに、海洋スポーツが体験できる町として、町内外の学校に積極的にPRしていく必要があります。

#### ② 施策の方向性

- 生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現するため、学校教育活動の充実とともに、地域における身近なスポーツへの参加のきっかけとなる社会体育活動の強化を図ります。

#### ③ 施策の展開

- 関係機関との連携

- ・ 保健福祉課等の関係機関と連携を図りながら、地域住民の体力づくりや健康増進を推進します。
- 各種スポーツ教室・講習会の開催
  - ・ 各種スポーツの知識や基本技術の習得、体力づくりや健康増進を目指して、各世代に合わせたスポーツを親しむ機会の提供を図ります。
- 各種スポーツ大会の開催や参加促進
  - ・ 魅力あるスポーツイベントとなるよう工夫を図り、多くの地域住民が参加しやすい環境整備に努めます。
- 地域の特性を生かすスポーツ・レクリエーションの普及（山・川・湖等）
  - ・ 町内外の学校に積極的にPRしていくことともに、大樹海洋スポーツ少年団員の加入促進を図るなど、海洋スポーツの普及に努めます。

## 施策項目 13 ミニバレーの振興

### ① 現状と課題

- 大樹町ミニバレー協会が中心となって、町民スポーツ大会ミニバレー大会やミニバレーの日フェスティバル等を開催し普及に努めています。ミニバレー発祥の地として、さらに競技人口の底辺拡大を図る必要があります。

### ② 施策の方向性

- 町技スポーツであるミニバレーの普及を図るため、学校でのミニバレーに触れる機会や取り組む機会の充実、様々な大会を通して親しむ機会の充実に努めます。

### ③ 施策の展開

- ミニバレーに関する情報提供と普及促進
  - ・ ミニバレーに関する情報を広報紙やホームページ等で町内外に随時広報するとともに、学校におけるミニバレーに触れる機会づくりを図ります。
- 各種大会の開催および支援
  - ・ 大会の企画や運営に対して、大樹町ミニバレー協会の求めに応じて、助言・支援します。

## 施策項目 14 社会体育施設の充実

### ① 現状と課題

- 町内の社会体育施設は、町民のみならず管内の住民にも利用されています。平成 24 年度からは大樹中学校体育館を学校開放事業として利用しています。完成から 30 年前後の施設が多いため、今後計画的に建物の改築や改修の必要があります。

### ② 施策の方向性

- 年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、すべての人が安全かつ快適に運動を楽しむことができる施設の充実に図ります。

### ③ 施策の展開

- 社会体育施設の充実
  - ・ 利用者の要望に応える施設環境の整備を計画的に行います。
  
- 学校体育施設の開放と利用推進
  - ・ 学校と連携し、地域住民が運動する機会を増やし、学校体育施設が有効利用されるよう広く周知します。

## 施策項目 15 指導者の育成(重点施策)

### ① 現状と課題

- 資格取得に係る経費の助成により、スポーツ少年団認定員養成講習会に指導者を派遣し育成に努めていますが、スポーツ実践者の減少に伴い、指導者の確保も難しくなっています。

### ② 施策の方向性

- スポーツ少年団の保護者会と連携し、スポーツ指導者等の養成や指導者数の拡大を促進します。

### ③ 施策の展開

- 指導者養成講座の充実
  - ・ 引き続き資格取得に係る経費を助成し、スポーツ少年団認定員養成講習会に指導者を派遣するとともに、スポーツ指導者やスポーツ実践者、スポーツ少年団の保護者等を対象にした講習会や研修会を開催します。

### ④ 評価の視点

- 指導者の育成やその活動を支援する体制
  - ・ 育成に関わる講座や研修会数
  - ・ 参加者数
  - ・ 指導者登録数



## 施策項目 16 スポーツ関係団体の育成

### ① 現状と課題

- 大樹町体育連盟には 17 団体が加盟していますが、スポーツ人口が減少傾向にあるため団体に加入する者が減少しています。町民への情報発信を始め、継続的な団体への活動支援を行うことによる活動の活性化の必要があります。

### ② 施策の方向性

- スポーツ団体の活動を活性化するために、事業の企画や運営等に対する指導・助言を図るとともに、スポーツ環境の整備や魅力を地域に発信しスポーツ人口の増加を図ります。

### ③ 施策の展開

- スポーツに親しむ機会の充実
  - ・ 大樹町体育連盟やスポーツ関係団体と連携して、町民に活動の様子を広報紙やSNSで広く知らせるとともに、誰でも気軽にスポーツを楽しむ機会を設けます。
- スポーツ関係団体への支援、活動の促進
  - ・ 活動の促進につながる情報提供や指導・助言します。

### (3) 芸術・文化活動の推進

#### 施策項目 17 芸術文化活動の推進

##### ① 現状と課題

- 広報紙や無線放送、チラシの全戸配布、ホームページの掲載等により情報提供を行っています。今後もホールの利用状況やイベント等の情報の充実を図り、町内外に発信する必要があります。
- 大樹町芸術鑑賞協会や大樹町文化協会を中心に様々な公演等を工夫して企画・立案しています。地域に根ざした個性的、創造的な芸術・文化活動や優れた芸術鑑賞の機会の拡充、進展を図る必要があります。
- 大樹町文化協会が中心となり、生涯学習センターを会場に、舞台専門スタッフの支援により、利用者の意向に沿った演出、芸術性の高い個性豊かな発表の場である大樹町文化祭を毎年開催しています。今後も利用者がより身近で利用しやすい施設にする必要があります。
- 大樹町文化協会や各加盟団体・サークルなど自主的な活動をする団体に対して、生涯学習センター等の公共施設の使用料を減免する等の支援を行っています。今後も継続的な支援を行うことで自主活動の推進を図ります。
- 昭和 58 年 3 月に大樹町と福島県相馬市が姉妹都市を締結したのを受け、文化交流事業が行われていますが、平成 24 年度から中止となっています。今後、友好都市等と連携した取組を行う必要があります。

##### ② 施策の方向性

- 北海道教育委員会や関係団体と連携を図りながら、地域住民の芸術文化活動への参加機会を提供するなど、生涯を通じた芸術文化活動の推進に取り組めます。

### ③ 施策の展開

#### ○ 芸術・文化に関する情報提供の充実

- ・ 大樹町で行われる芸術・文化事業に関する情報を地域住民に広報紙や電子メディアを活用して周知を図ります。

#### ○ 芸術・文化に関する鑑賞機会の提供と充実

- ・ 地域に根ざした個性的、創造的な芸術・文化活動や優れた芸術鑑賞の機会の拡充を図ります。

#### ○ 発表の場の提供

- ・ 町民文化祭の支援をはじめ、地域住民がより身近で利用しやすい発表の場を設定します。

#### ○ 自主的な活動の支援

- ・ 自主的な活動をする団体に対して、生涯学習センター等の公共施設の使用料を減免する等の支援を引き続き行うとともに、団体の求めに応じて社会教育主事が必要な助言を行います。

#### ○ 文化交流活動の支援

- ・ 友好都市等と連携した文化交流事業が行うことができるよう関係機関と調整します。

## 施策項目 18 団体・指導者の育成(重点施策)

### ① 現状と課題

- 大樹町芸術鑑賞協会、大樹町文化協会に対して、補助金の交付、芸術や文化情報を逐次提供する等、団体の育成と活動の支援を行っていますが、人口減少や会員の高齢化等により会員数が減少している状況にあります。
- 30代、40代の地域住民が中心となって行ってきた自主的な学習教室からサークルが結成され、大樹町文化協会に加盟するなど、新たな動きが出ています。会員の高齢化や指導者不足が問題となっていますが、今後も初心者を対象とした体験教室や自主的な学習教室を通して、人材の発掘や育成を図るとともに、10代後半から20代の若い世代を対象とした幅広い文化活動を行いながら、若い人材を育成していく必要があります。
- 尾田地域では自主的に地域文化祭を開催し世代を超えた交流を深めるなど地域づくりが活発です。他の地域においても、地域づくりにつながる情報や機会の提供が必要です。

### ② 施策の方向性

- 芸術・文化団体活動により多くの地域住民が参画できる環境を整えます。

### ③ 施策の展開

- 芸術・文化団体の育成、活動促進
  - ・ 団体の育成や活動の促進につながる情報提供や助言を行います。
- 文化活動を担う人材の育成支援
  - ・ 新たな指導者の育成などを目的とした研修会を開催し、指導者の資質向上を図ります。
- 自主的な文化活動を通じた地域づくりの支援
  - ・ 地域づくりにつながる活動について研修する機会を設けるなど地域住民が主体となって活動する環境を整備します。

④ 評価の視点

○ 新たな指導者の育成や指導者対象の研修会の開催

- ・ 指導者数

## 施策項目 19 文化的遺産の保存及び活用の推進

### ① 現状と課題

- 北海道指定有形文化財に指定されている文化財などの文化的遺産に対して、環境整備を行っています。文化財保護法に基づいた保存と併せて、地域住民に親しんでもらうことのできる環境づくりを推進していく必要があります。
- 開発行為に伴う埋蔵文化財の調査を行っています。引き続き、文化財保護法に基づき適正に調査を行う必要があります。
- 小中学校の授業において、歴史・文化的施設を見学し、文化財などについて学ぶ機会が設けられています。未展示の大樹式土器の展示方法の検討など、様々な学ぶ機会を提供する必要があります。
- 大樹町郷土資料館(旧石坂小学校)は、平成 25 年度からは夏期期間の土日祝日に限り開館していますが、入場者数の少ない状況が続いています。今後の資料館活用について検討が必要です。
- 文化財保護地区では、文化財保護に関する看板を設置するなど文化財保護に向けての取組を行っています。また、「浜大樹 2 遺跡」の発掘調査が継続して行われています。広報紙やホームページ等を通して、広く町民に文化財に親しむ環境づくりを進める必要があります。
- 日方川太鼓保存会は、昭和 53 年から郷土芸能の継承と普及に努め、生涯学習センターを拠点に活動し、地域のイベントや認定こども園においても太鼓に触れ合う場を設けています。保存会には、幼児や小学生の加入者はいるものの青年層が少ない状況です。後継者の確保と育成のため郷土芸能等への理解を深める取組の必要があります。

### ② 施策の方向性

- 文化財の調査や適切な維持管理等に努めるとともに、文化財に関する情報の発信や文化財に親しむ機会の提供を行います。

### ③ 施策の展開

#### ○ 保存、活用の充実

- ・ 定期的に保存状況の確認や活用する機会を設けます。

#### ○ 文化財、郷土資料の調査

- ・ 外部人材を活用して文化財や郷土資料の調査を推進します。

#### ○ 学校教育活動への活用

- ・ 町所有の文化財を学校教育活動に生かします。

#### ○ 郷土資料の活用

- ・ 地域住民等に郷土資料を活用した取組を行います。

#### ○ 文化財保護意識の啓発

- ・ 文化財に対する興味・関心を高め、価値を正しく理解するための情報を発信します。

#### ○ 郷土芸能、伝承技術の継承と普及の支援

- ・ 郷土芸能、伝承技術を継承する個人や団体に対しての支援を行います。

## 参考資料

資料1 2018年度 社会教育課・図書館 所管事項



# 2018年度 社会教育課社会教育係所管事項

項目	実施内容	成果の主なもの
社会教育委員会運営費	大樹町の社会教育の振興について協議し、社会教育行政についての意見具申があった また、第5期大樹町生涯学習推進計画の評価並びに第6期大樹町生涯学習推進計画の策定を行った	十勝社会教育委員協議会理事会 4月5日 芽室町 2人 南十勝教育振興会総会 4月25日 中札内村 5人 南十勝社会教育委員研修会 6月27日 広尾町 5人 北海道市町村社会教育委員長等研修会 7月9日～10日 札幌市 3人 十勝社会教育委員協議会臨時理事会兼十勝管内社会教育委員長等研修会 9月26日 芽室町 1人 北海道社会教育研究大会 10月12日～13日 留寿都村 4人 十勝管内社会教育委員入門研修会 12月5日 芽室町 2人 十勝管内社会教育委員研修会 12月5日 芽室町 4人 委員会の開催 3回
社会教育推進事業	大樹町文化協会との共催事業で、学習講座を通して住民の日常生活に活かせる学習内容を提供した	生涯学習講座 期日 3月19日 場所 学習センター 視聴覚室 講師 堀敏彦 参加 17人
	住民の学習要求の多様化、高度化に対応するため、学習機会の提供、学習相談等を行い、生涯学習の拡充を図った	自主学級 4学級45人 カラオケひまわり、静物デッサン、パステルアート チカチカ
	町内の児童・生徒、PTA、教育関係者、一般住民を対象とし、「大樹町教育の日」宣言に係る講演会を開催し啓発活動を行った	「大樹町教育の日」講演会 期日 10月9日 場所 学習センター コスモスホール 講師 JAXA宇宙科学研究所 國中均 参加 460人
	町内の吹奏楽団体による合同演奏会を開催することによって、小中高連携を強めるとともに、青少年の健全育成と親睦交流を図った	コスモスコンサート 期日 1月26日 場所 学習センター コスモスホール 参加 250人
青少年教育推進事業	親子による創作活動の場と学習機会の提供を行い、生涯学習の拡充を図った	親子陶芸教室 期日 4月14日～3月9日(年12回) 場所 学習センター 陶芸室 講師 横田和子、五十嵐美代子 参加 延べ135人
	規律正しい団体生活を体験し、友情と連帯の精神を養うとともに、視野の拡充を図った	ジュニアリーダーコースHokkaido in 足寄 期日 10月6日～8日 場所 足寄町 参加 鈴木鍊、星野彩嶺 大越照美
	広い視野と柔軟な発想や創造性を育み、物事を論理的に考え自らの主張を正しく理解できる力を身に付けた	「少年の主張」十勝地区大会 期日 6月30日 場所 帯広市 参加 九目美菜

# 2018年度 社会教育課社会教育係所管事項

項目	実施内容	成果の主なもの
青少年教育推進事業 (つづき)	大樹町地域子ども会育成連絡協議会との共催事業で、地域子ども会に所属する会員相互の親睦と交流並びに子ども達の健全育成の推進の機会を提供した	大樹町地域子ども会育成連絡協議会事業 南十勝地域子ども会交歓会 2月17日 大樹町 83人 地域子ども会春季ミニバレー大会 2月24日 大樹町 73人
家庭教育推進事業	子ども達の成長段階に即した親の学習機会を提供した	家庭教育学級 大樹小学校 1回 37人 大樹中学校 6回 107人
成人教育推進事業	団体活動に自ら進んで参加し、視野を広く持ち、仲間づくりの楽しさを理解し、リーダーとしての知識と技術を学ぶ機会を提供した	大樹町女性団体連絡協議会事業 春期女性リーダー養成講習会 4月25日 士幌町 9人 十勝女性大会 7月7日 帯広市 8人 北海道女性大会 9月14日～15日 洞爺湖町 中止
高齢者教育推進事業	高齢者の生きがいがづくりのための学習機会を提供した	大樹町ことぶき大学 期日 4月13日～3月22日(年24回) 場所 学習センター 他2ヶ所 講師 10学部 12人 参加 10学部 113人
生涯学習学社融合事業	開かれた学校として教育施設の提供や人材の有効活用を図った	大樹高等学校開放講座 3講座37人 季節を楽しむお菓子作り(アップルパイ・シフォンパウンド)、皿回しで考える組織論
学校支援地域本部事業	学校の教育活動にボランティアによる地域住民の知識と技能を活用することで、学校教育の充実や地域の連帯感を強め、地域住民の更なる学習意欲の向上を図った	大樹町学校支援地域教育協議会 期日 8月30日 場所 学習センター 視聴覚室 参加 11人
	大樹小学校で長期休業中に開催しているチャレンジスクールにおいて大樹高等学校よりボランティアを要請しミドルティーチャーとして起用することで学校の支援を図った	大樹小学校夏休みチャレンジスクール 期日 7月30日～8月1日 場所 大樹小学校 参加 9人(高校生ミドルティーチャー) 大樹小学校冬休みチャレンジスクール 期日 12月26日～28日 場所 大樹小学校 参加 14人(高校生ミドルティーチャー)
	大学生や教員OB等の地域住民を活用し、小学生を対象とした放課後学習塾を開設することで、児童の学習支援と学力向上を図った	大樹子ども未来塾 期日 4月11日～3月13日(年47回) 場所 学習センター 視聴覚室他1ヶ所 参加 延べ1,270人
	大樹子ども未来塾の運営に連動して日本漢字能力検定に向けた取組を行うことで、児童の学習支援と資格取得に向けた支援を図った	日本漢字能力検定 期日 10月19日 場所 学習センター 視聴覚室 参加 19人 期日 1月30日 場所 学習センター オークホール 参加 45人
	大樹子ども未来塾の運営について協議し、今後の運営・方針等についての意見具申があった	学習支援員会議 期日 4月25日～3月13日(年12回) 場所 学習センター 視聴覚室 参加 延べ52人

# 2018年度 社会教育課社会教育係所管事項

項目	実施内容	成果の主なもの
土曜日の教育支援体制等構築事業	町内の児童に様々な体験活動を提供することで学習意欲を刺激し、豊かな心やたくましく生きるための少年の育成を図った	あつまれ！大樹っ子 10回132人 ミストメディアアート体験、焼き板クラフト工作体験 親子で木工体験、アケゾマツの植樹体験 消しゴムはんこで年賀状製作体験 クリスマス製作体験、ことぶき大学入学 茶道体験、光る！星座製作体験 大きな大きなクッキー製作体験
子ども交流事業	南十勝長期宿泊体験交流協議会（STEP）が展開している「都市と農山漁村との交流事業」を中心に、「人・山・川・海・湖」など地域の多様な自然資源や人材を活用し、子ども達が生きる力を身につけるための体験活動や各種交流事業を推進した	小学校等受入体験活動 7回230人 大樹小、池田小、高島小、大樹中 吉岡町 STEP主催受入体験活動 16回638人 宿泊体験(夏季・秋季・冬季・春季) スペースフェスタ2018、こどもの日イベント 川下りプログラム、りくキッズ 尾田おやじの会、西児童保育センター 歴舟川清流まつり、森の里児童保育センター つつじが丘児童保育センター おもいっきり楽しみ隊、谷保のそらっこ 日帰り体験活動 7回162人 山菜クッキング、自然のものでネイチャーアート 水辺で生き物さがし、溪流フィッシング 牧場体験、たき火でグツグツ、雪・直滑降 修学旅行等受入体験活動 7回206人 奈良学園高、園芸高、市岡高、渋谷高 東百舌鳥高、守口東高、川和高 学童保育所活動 32回766人 こども園活動 14回342人 北保育園、南保育園、尾田認定こども園

項目	実施内容	成果の主なもの
生涯学習センター運営費	地域住民に対して生涯学習の成果としての発表の場と芸術鑑賞の機会を提供した	アートギャラリー事業 17事業 ドライブワラフクロの会、幕別切り絵の会 お父さんお母さん似顔絵、教科書 砂金堀資料、ことぶき大学(夏季・冬季) 大樹小学校夏休み作品、スペースイラストコンテスト 文化祭、大樹で発見されたヒゲクダラ化石 大樹今昔物語、たいき・夢・アート 関寺夕子干支、書き初め、帯広百年記念館移動博物館、大樹町酪農アーティスト二人
	生涯学習センターの施設設備等について、継続して安心・安全な利用を図るため、計画的に工事を実施した	生涯学習センター施設設備等工事 1件 舞台照明設備更新工事
生涯学習センター文化事業	大樹町の自然や文化など個々のイメージする「まち」について創作することで地域住民の創造力とまちづくりへの関心を高めた	たいき・夢・アート展表彰式 期日 1月13日 場所 学習センター オークホール 参加 幼児 46点 優秀賞1点入選 5点 児童 283点 優秀賞6点入選18点 生徒 0点 優秀賞0点入選 0点 一般 134点

# 2018年度 社会教育課社会教育係所管事項

項目	実施内容	成果の主なもの
生涯学習センター文化事業	地域住民の自発的、創造的な芸術活動の促進と芸術鑑賞の機会を提供した	<p>夢劇場奨励事業</p> <p>サントクロスのロック大作戦 VOL. 24 期日 3月17日 場所 学習センター コスモスホール 参加 215人</p> <p>なかにしりくアコースティックライブ in大樹 期日 3月24日 場所 レキフネーション 参加 25人</p>
	町内の小中学生に対して、芸術鑑賞の機会を提供した	<p>小中学生芸術鑑賞事業</p> <p>わくわくジャズコンサート 期日 10月4日 場所 学習センター コスモスホール 参加 307人(小学生・教職員)</p> <p>BROKEN SPORT&amp;AFRAによる音楽の旅 期日 1月29日 場所 学習センター オークホール 参加 136人(中学生・教職員)</p>
	大樹町芸術鑑賞協会との共催で、地域住民に対して様々な分野の芸術鑑賞の機会を提供した	<p>大樹町芸術鑑賞協会事業</p> <p>和心ブラザーズコンサート 期日 6月23日 場所 学習センター コスモスホール 参加 225人</p> <p>スガノの秘密&amp;ガラコンサート 期日 9月22日 場所 学習センター コスモスホール 参加 377人</p> <p>音楽の絵本アンデイズム 期日 10月25日 場所 学習センター コスモスホール 参加 233人</p> <p>秋川雅史コンサートIN大樹〜サ・ベスト〜 期日 11月24日 場所 学習センター コスモスホール 参加 218人</p>
	町民が自主・自発的に実施する文化芸術活動を促進するとともに、その活動を町民に鑑賞させる機会を提供した	<p>ロビーコンサート開設事業</p> <p>ゴスペルと朗読の夕べロビーコンサート 期日 9月8日 場所 学習センター アートギャラリー 参加 中止</p> <p>とちまンドリオンアンサンブルロビーコンサート 期日 10月13日 場所 学習センター アートギャラリー 参加 31人</p> <p>ナウマンウィンドアンサンブルロビーコンサート 期日 3月2日 場所 学習センター アートギャラリー 参加 60人</p>

# 2018年度 社会教育課社会教育係所管事項

項目	実施内容	成果の主なもの						
生涯学習センター文化事業（つづき）	大樹町文化協会との共催で、地域住民に対して様々な分野の文化芸術活動を発表・鑑賞させる機会を提供した また、町の文化の振興に貢献した個人及び団体に対して文化賞の贈呈を行った	大樹町文化協会事業 大樹町文化祭 芸能発表 期日 10月27日 場所 学習センター コスモスホール 参加 300人 スポーツ賞・文化賞贈呈式 期日 3月9日 場所 学習センター コスモスホール 参加 84人						
文化財保護事業	晩成社史跡公園、旭浜トーチカ、郷土資料館等の町内文化財保護施設の維持管理を行い、町内外の来訪者に対して文化財鑑賞の機会を提供した	大樹町郷土資料館 開放日数 65日 利用日数 27日 (期間：H30. 4. 21～H30. 10. 28) <table border="1" data-bbox="1013 636 1425 711"> <tr> <td>個人</td> <td>63</td> <td rowspan="2">合計</td> <td rowspan="2">130</td> </tr> <tr> <td>団体等</td> <td>67</td> </tr> </table>	個人	63	合計	130	団体等	67
個人	63	合計	130					
団体等	67							

大樹町生涯学習センター利用状況(平成30年度)

1 利用日数

(ホール)

(単位：日、%)

室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計	利用率
コスモスホール	0	0	2	11	16	5	24	16	11	14	3	10	112	35.9
オークホール	23	21	21	27	23	17	28	30	21	25	12	15	263	84.3
合計	23	21	23	38	39	22	52	46	32	39	15	25	375	
利用可能日数	26	26	27	26	27	27	27	26	26	22	24	28	312	
ホール利用率	44.2	40.4	42.6	73.1	72.2	40.7	96.3	88.5	61.5	88.6	31.3	44.6		60.1

(学習棟)

(単位：日、%)

室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計	稼働率
リハーサル室	12	13	14	24	20	16	18	25	20	21	15	17	215	59.9
楽屋 1	2	1	2	12	10	4	8	13	8	14	0	4	78	21.7
楽屋 2	5	2	4	12	11	6	10	13	10	14	0	5	92	25.6
アートギャラリー	14	25	23	31	30	22	17	29	30	25	23	22	291	81.1
作法室	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	1	2	19	5.3
和室	13	10	11	12	11	12	18	14	15	12	13	11	152	42.3
保育室	4	3	3	3	3	3	5	8	8	5	13	5	63	17.5
陶芸室	16	18	16	17	16	11	18	13	14	15	18	16	188	52.4
調理実習室	3	6	5	7	5	5	6	10	9	5	10	7	78	21.7
生きがい活動室1	6	7	8	8	4	7	10	9	9	4	5	4	81	22.6
生きがい活動室2	11	13	18	17	12	16	22	21	14	13	15	12	184	51.3
研修会議室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
視聴覚室	12	15	14	16	9	20	20	18	9	13	14	16	176	49.0
活動専用室	14	18	13	11	13	8	13	10	14	8	11	14	147	40.9
合計	114	133	133	172	145	131	166	184	162	151	138	135	1,764	
利用可能日数	30	31	30	31	31	30	31	30	30	26	28	31	359	

2 利用人数

(単位：人)

室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
コスモスホール	0	0	255	290	623	442	2,204	2,345	307	538	35	630	7,669
オークホール	440	369	480	416	342	372	710	1,300	305	485	140	220	5,579
リハーサル室	143	165	181	220	168	208	286	496	228	209	210	203	2,717
楽屋 1	19	2	10	61	60	20	51	96	36	70	0	35	460
楽屋 2	23	8	16	68	89	38	101	100	40	65	0	28	576
アートギャラリー	420	750	690	930	900	660	511	870	900	750	690	690	8,761
作法室	10	8	8	8	4	4	4	4	8	8	4	8	78
和室	110	162	174	206	142	158	317	296	311	210	283	162	2,531
保育室	35	25	25	25	25	25	31	62	50	62	31	38	434
陶芸室	95	103	94	99	97	72	103	89	84	90	103	91	1,120
調理実習室	56	77	66	81	82	76	87	138	103	96	124	83	1,069
生きがい活動室1	58	58	75	87	42	68	165	158	88	44	51	40	934
生きがい活動室2	110	135	195	171	125	155	244	342	145	103	142	121	1,988
研修会議室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
視聴覚室	302	279	237	222	144	341	327	328	157	139	243	242	2,961
活動専用室	128	167	124	101	101	66	130	102	178	74	103	130	1,404
合計	1,949	2,308	2,630	2,985	2,944	2,705	5,271	6,726	2,940	2,943	2,159	2,721	38,281

## 2018年度 社会教育課社会体育係所管事項

項目	実施内容	成果の主なもの
保健体育推進事業	加盟団体の活動の支援、団体の育成	大樹町体育連盟補助 加盟17団体 大樹町スポーツ少年団本部補助 加盟 8団体
社会体育推進事業	幼児、小学生のスケート競技力の向上と競技役員の技術向上に成果があった	第23回全十勝ジュニアスピードスケート選手権大樹大会 期日 1月7日 場所 中央運動公園スケートリンク 参加 41団体266人
	スピードスケートを通して、幼児、小学生の心身共に健全な育成を図り多くの仲間を得、親睦を深めることができた	第36回大樹町スピードスケート選手権大会 期日 2月8日 場所 中央運動公園スケートリンク 参加 27人
	全道、全国大会に出場した選手を支援した	優秀選手派遣事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第10回開陽台視界330度少年野球大会 期日 9月14日～9月16日 場所 中標津町 派遣 大樹野球スポーツ少年団 団員19人, 指導者3人</li> <li>・JFA第42回全日本U12サッカー選手権大会 北海道道東ブロック大会 期日 9月23日～9月24日 場所 鶴居村 派遣 大樹サッカースポーツ少年団 団員11人, 指導者3人</li> <li>・第9回道連中学部強化研修大会 兼 クリスマスカップ派遣選手選考大会 期日 10月13日～10月14日 場所 美歌市 派遣 上田綺花, 西城凜, 秋元浩希</li> <li>・第46回清水チャンピオンズカップ 少年サッカー大会 期日 12月21日～12月24日 場所 静岡県静岡市 派遣 高杉龍乃介</li> <li>・全道選抜中学校ソフトテニス研修大会 期日 2月16日～2月17日 場所 新十津川町 派遣 林美沙希, 木ノ内陽彩, 秋元浩希</li> <li>・第16回全日本スノーボード技術選手権大会 期日 2月25日～3月5日 場所 新潟県南魚沼市 派遣 領毛雅樹</li> <li>・全道フットサル選手権大会2019 期日 3月9日～3月10日 場所 札幌市 派遣 溝口祐真</li> </ul>

# 2018年度 社会教育課社会体育係所管事項

項目	実施内容	成果の主なもの
町民スポーツ大会開催事業	スポーツを通して住民の連帯性を養うとともに、体力づくり・地域づくりを目指した	<p>第47回町民スポーツ大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲートボール大会 期日 9月19日 場所 海洋センターゲートボール場 参加 9チーム54人</li> <li>・ソフトテニス大会 期日 10月14日 場所 中央運動公園テニスコート 参加 31人</li> <li>・パークゴルフ大会 期日 10月14日 場所 歴舟川河川敷パークゴルフ場 参加 12チーム48人</li> <li>・ミニテニス大会 期日 12月9日 場所 海洋センター 参加 15人</li> <li>・スケート大会 期日 1月5日 場所 中央運動公園スケートリンク 参加 35人</li> <li>・ミニバレー大会 期日 2月13日～14日 場所 海洋センター 参加 23チーム110人</li> </ul>
海洋スポーツ振興事業	強くたくましい青少年を育成するという観点から海洋スポーツのプログラムを提供した。また、他町村の児童、教諭にも海洋スポーツの素晴らしさを体験してもらった	<p>海洋スポーツ指導 21回 学校・団体受入 7団体211人 群馬県吉岡町、大樹中学校、忠類中学校 忠類子ども会、西本通子ども会 豊頃町教育委員会、大樹小忠類小教員</p>
	B & G海洋センター所在市町村の子ども達がカヌー、ヨット及び水泳競技を通して交流を深めるとともに、競技力の向上を図った	<p>B &amp; G北海道ブロック・スポーツ交流交歓会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「水上の部」 期日 8月5日 場所 厚岸町 参加 17人</li> <li>・「水泳の部」 期日 8月5日 場所 和寒町 参加 8人</li> </ul>
スポーツクラブ育成事業	各種スポーツ教室において、基礎から高度な技術まで体得し、スポーツの生活化と体力づくりに取り組んだ	<p>スポーツ教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳教室 期日 8月6日～8日 場所 海洋センタープール 講師 帯広市文化スポーツ振興財団指導員(3人) 参加 延64人</li> <li>【新規】カーリンコン体験教室 期日 10月29日 場所 福祉センター 講師 社会教育課職員 参加 36人</li> </ul>



# 2018年度 社会教育課社会体育係所管事項

項目	実施内容	成果の主なもの																
スポーツクラブ育成事業 (つづき)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・野球教室 期日 12月15日 場所 海洋センター 講師 北海道日本ハムファイターズ 黒羽根利規選手 参加 17人</li> <li>・ちびっこスケート教室 期日 1月3日～5日 場所 中央運動公園スケートリンク 講師 大樹町スケート協会(5人) 参加 延63人</li> <li>・スケート教室 期日 1月3日 場所 中央運動公園スケートリンク 講師 北海道池田高等学校スケート部(顧問2人、部員26人) 参加 18人</li> <li>・歩くスキー教室 期日 1月19日 場所 中央運動公園 参加 コース未整備のため中止</li> <li>・ゲレンデスキー教室 期日 1月18日～20日 場所 忠類白銀台スキー場 講師 忠類白銀台スキー学校 指導員(7人) 参加 延86人</li> </ul>																
学校開放事業	地域住民に学校施設を開放することにより、スポーツ活動の場を提供し、健康づくり仲間づくりの地域の活性化を図った	<p>大樹中学校体育館</p> <p>開放日数 358日 利用日数 174日 (期間：H30.4.1～H31.3.31)</p> <table border="1"> <tr> <td>協会</td> <td>1,790</td> <td>合計</td> <td>1,790</td> </tr> <tr> <td>団体等</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>大樹小学校体育館(臨時)</p> <p>開放日数 358日 利用日数 2日 (期間：H30.4.1～H31.3.31)</p> <table border="1"> <tr> <td>協会</td> <td>29</td> <td>合計</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>団体等</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	協会	1,790	合計	1,790	団体等				協会	29	合計	29	団体等			
協会	1,790	合計	1,790															
団体等																		
協会	29	合計	29															
団体等																		
町技普及振興事業	大樹町が発祥のミニバレーを通して、十勝管内市町村のミニバレー愛好者の親睦と友好を深め、ミニバレーの普及が図られた	第34回NHK杯全十勝ミニバレー交歓大会 期日 11月25日 場所 海洋センター・武道館 参加 44チーム177人																
	町技普及のために、十勝管内の小・中・高校生にミニバレーの楽しさを体験させる	第24回とかちっこミニバレー大会 期日 12月2日 場所 海洋センター 参加 23チーム117人																
スポーツ推進委員運営事業	大樹町のスポーツ振興について協議し、社会体育行政についての意見具申を行った	南十勝管内スポーツ推進委員研修会 7月10日 大樹町 十勝管内スポーツ推進委員研修会 9月15日 帯広市 北海道スポーツ推進委員研究協議会 10月11日～12日 深川市 委員会の開催 2回																

# 2018年度 社会教育課社会体育係所管事項

項目	実施内容	成果の主なもの																							
海洋センター維持管理費	計画的・効率的な運営に努め、学校の部活動や少年団活動、体育団体などに利用され、競技力の向上はもとより、健康づくりや仲間づくりの場として多くの成果を上げた	海洋センターアリーナ利用者集計 開放日数 358日 利用日数 358日 (期間：H30.4.1～H31.3.31)																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>幼児</th> <th>小学</th> <th>中学</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">アリーナ</td> <td>70</td> <td>1,817</td> <td>271</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>一般</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2,416</td> <td>8,135</td> <td>12,709</td> </tr> </tbody> </table>	区分	幼児	小学	中学	アリーナ	70	1,817	271	高校	一般	合計		2,416	8,135	12,709								
		区分	幼児	小学	中学																				
アリーナ	70	1,817	271																						
	高校	一般	合計																						
	2,416	8,135	12,709																						
大樹町武道館利用者集計 開放日数 358日 利用日数 358日 (期間：H30.4.1～H31.3.31)																									
海洋センターゲートボール場利用者集計	町民の幅広い利用により、健康づくりと体力づくりが図られた	開放日数 146日 利用日数 51日 (期間：H30.5.1～H30.10.12)																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>協会</th> <th>994</th> <th rowspan="2">合計</th> <th rowspan="2">994</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体等</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	協会	994	合計	994	団体等	0																	
		協会	994	合計			994																		
団体等	0																								
海洋センタープール利用者集計 開放日数 85日 利用日数 85日 (期間：H30.6.15～H30.9.14)																									
生花湖艇庫維持管理費	計画的・効率的な運営を図り、海洋スポーツを通じて体力づくりと仲間づくりが図られた	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>幼児</th> <th>小学</th> <th>中学</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">プール</td> <td>33</td> <td>612</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>一般</td> <td>学校</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0</td> <td>115</td> <td>2,765</td> </tr> <tr> <td>少年団</td> <td>教室</td> <td>大会</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>2,245</td> <td>80</td> <td>0</td> <td>5,893</td> </tr> </tbody> </table>	区分	幼児	小学	中学	プール	33	612	43	高校	一般	学校		0	115	2,765	少年団	教室	大会	合計	2,245	80	0	5,893
		区分	幼児	小学	中学																				
		プール	33	612	43																				
高校	一般		学校																						
	0	115	2,765																						
少年団	教室	大会	合計																						
2,245	80	0	5,893																						
海洋センター艇庫利用者集計 開放日数 92日 利用日数 21日 (期間：H30.6.10～H30.9.9)																									
高齢者健康増進センター維持管理費	通年ゲートボールを実施し、高齢者の健康増進と仲間づくり、技術の向上が図られた	<table border="1"> <thead> <tr> <th>少年団</th> <th>429</th> <th rowspan="2">合計</th> <th rowspan="2">640</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体等</td> <td>211</td> </tr> </tbody> </table>	少年団	429	合計	640	団体等	211																	
		少年団	429	合計			640																		
団体等	211																								
高齢者健康増進センター利用者集計 開放日数 358日 利用日数 306日 (期間：H30.4.1～H31.3.31)																									
大樹中央運動公園維持管理費	計画的・効率的な運営に努め、学校の部活動や少年団活動、体育団体などに利用され、競技力の向上はもとより、健康づくりや仲間づくりの場としても多くの成果を上げた	<table border="1"> <thead> <tr> <th>協会</th> <th>6,077</th> <th rowspan="2">合計</th> <th rowspan="2">6,182</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体等</td> <td>105</td> </tr> </tbody> </table>	協会	6,077	合計	6,182	団体等	105																	
		協会	6,077	合計			6,182																		
団体等	105																								
中央運動公園中央町民球場利用者集計 開放日数 214日 利用日数 35日 (期間：H30.4.1～H30.10.31)																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>協会</th> <th>940</th> <th rowspan="4">合計</th> <th rowspan="4">1,525</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>少年団</td> <td>269</td> </tr> <tr> <td>団体等</td> <td>264</td> </tr> </tbody> </table>	協会	940	合計	1,525	学校	52	少年団	269	団体等	264													
協会	940	合計	1,525																						
学校	52																								
少年団	269																								
団体等	264																								

# 2018年度 社会教育課社会体育係所管事項

項目	実施内容	成果の主なもの										
大樹中央運動公園維持管理費（つづき）		中央運動公園ソフトボール場利用者集計 開放日数 214日 利用日数 67日 （期間：H30.4.1～H30.10.31） <table border="1" data-bbox="1018 323 1429 473"> <tr> <td>協会</td> <td>2,205</td> <td rowspan="4">合計</td> <td rowspan="4">3,638</td> </tr> <tr> <td>学校</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>少年団</td> <td>1,218</td> </tr> <tr> <td>団体等</td> <td>215</td> </tr> </table>	協会	2,205	合計	3,638	学校	0	少年団	1,218	団体等	215
		協会	2,205	合計			3,638					
		学校	0									
		少年団	1,218									
		団体等	215									
中央運動公園テニスコート場利用者集計 開放日数 214日 利用日数 184日 （期間：H30.4.1～H30.10.31） <table border="1" data-bbox="1018 621 1429 735"> <tr> <td>協会</td> <td>602</td> <td rowspan="3">合計</td> <td rowspan="3">7,010</td> </tr> <tr> <td>学校</td> <td>6,205</td> </tr> <tr> <td>団体等</td> <td>203</td> </tr> </table>	協会	602	合計	7,010	学校	6,205	団体等	203				
協会	602	合計			7,010							
学校	6,205											
団体等	203											
中央運動公園スケートリンク利用者集計 開放日数 58日 利用日数 58日 （期間：H30.12.14～H31.2.15） <table border="1" data-bbox="1018 882 1429 997"> <tr> <td>学校</td> <td>786</td> <td rowspan="3">合計</td> <td rowspan="3">2,813</td> </tr> <tr> <td>少年団</td> <td>640</td> </tr> <tr> <td>団体等</td> <td>1,387</td> </tr> </table>	学校	786	合計	2,813	少年団	640	団体等	1,387				
学校	786	合計			2,813							
少年団	640											
団体等	1,387											
中央運動公園センターハウス利用者集計 開放日数 358日 利用日数 12日 （期間：H30.4.1～H31.3.31） <table border="1" data-bbox="1018 1144 1429 1220"> <tr> <td>学校</td> <td></td> <td rowspan="2">合計</td> <td rowspan="2">345</td> </tr> <tr> <td>団体等</td> <td>345</td> </tr> </table>	学校		合計	345	団体等	345						
学校		合計			345							
団体等	345											
中央運動公園歩くスキー貸出数 開放日数 28日 利用日数 6日 （期間：H31.2.1～H31.2.28） <table border="1" data-bbox="1018 1370 1429 1447"> <tr> <td>貸出数</td> <td>7</td> <td rowspan="2">合計</td> <td rowspan="2">7</td> </tr> <tr> <td>教室</td> <td>0</td> </tr> </table>	貸出数	7	合計	7	教室	0						
貸出数	7	合計			7							
教室	0											

# 2018年度 図書館業務係所管事項

項目	実施内容	成果の主なもの
図書館運営委員会運営事業 図書館管理運営費	公共図書館として図書館運営委員会、図書館利用者からの意見を参考に「図書館資料」の充実、図書館の利用の推進を実施した。	○図書館運営委員会 4回 ○奉仕業務 ・開館日数 284日 ・入館者数 14,619人 ・移動図書館 63日 ・登録者数 2,020人 ・貸出冊数 館内貸出冊数 42,610冊 移動図書館貸出冊数 16,147冊 58,757冊 ・町民1人当たり貸出冊数 10.6冊 ○整理業務 ・蔵書冊数 一般図書 47,754冊 児童図書 26,664冊 合計 74,418冊 ・年間受入冊数 2,158冊 ・町民1人当たり蔵書数 13.43冊
	ホームページ、図書館だより、広報たいき等で図書館行事や新着図書紹介情報提供を実施	図書館だより「かしわ」 228～233号 読書感想文集「かしわ」 第42号 広報たいき「図書館のページ」 毎月
	4月21日 第3回本とあそぼう！ みんなのおはなし会	96人
	4月21日 Myしおりを作ろう！	37人
	5月11日 オリエンテーション	新1年生オリエンテーション 47人
	7月26日～8月19日 ファイターズ企画	日本へ読書促進全道キャンペーン (道教委連携) 参加者 22人
	8月1日～7日 七夕週間	延べ 301人
	8月3日 夏休み工作ひろば	課題「すかし切り絵のステンドグラス」 18人
	9月17日 文学講演会	第28回文学講演会 絵本作家・長野ヒデ子講演会 「絵本の魅力と紙芝居の力」 講師 長野 ヒデ子氏 42人
	10月4日 施設訪問	児童文学を読む会「たんぼぼ」 尾田認定こども園訪問 31人
	10月16日 ジョブシャドウイング	大樹中(1年生) 1人
	11月5日～7日 職場体験	大樹中(2学年) 1名
	12月1日 クリスマスのつどい	児童文学を読む会「たんぼぼ」共催 82人
	1月10日 冬休み工作ひろば	課題「ねんどでスイーツをつくろう！」 9人
	2月8日 ぬいぐるみおとまりかい	11人
	2月23日 ひなまつりのつどい	34人

# 2018年度 図書館業務係所管事項

項目	実施内容	成果の主なもの
図書館管理運営費 (つづき)	図書館ボランティア団体定例活動の 推進及び活動支援を実施	児童文学を読む会「たんぽぽ」 36回 延べ230人 「源氏物語」を読む会 9回 35人 図書館ボランティア「どんぐりの会」 土曜おはなし会 12回 " 152人 こあらの会 11回 " 152人
	読書感想文コンクールを実施 11月3日 表彰式  小学校低学年の部 小学校中学年の部 小学校高学年の部 中学校の部 高等学校の部	応募総数 239 編 最優秀 優 秀 佳 作 1 編 3 編 4 編 1 編 4 編 2 編 1 編 4 編 4 編 1 編 2 編 3 編 1 編 2 編 3 編
	町民対象に除籍の古本市、保管期限 切れの雑誌還元を実施 3月6日～8日 古本市 3月14日～17日 古本市 3月6日～8日 雑誌還元 3月14日～17日 雑誌還元	参加数 冊数 (施設対象) 2か所 9冊 (個人対象) 96人 520冊 (施設対象) 2か所 24冊 (個人対象) 117人 298冊
図書館ブックスタート 事業	ブックスタートを生後9、10か月の 乳児を対象に実施 ・絵本、イラストアドバイス集、 コットン・バックを配布	実施回数 6回 対象者数 37人 ボランティア 延べ5人
図書館管理システム維 持管理費	保守業務委託によるシステム保守 及び保守作業非常時運用のサポート	ハード保守 8月31日まで ・サーバー装置 1台 ・蔵書管理端末 4台 ・BM端末 1台 ・ハンディ端末 2台
		1 図書館運用支援 8月31日まで ・蔵書点検作業 2 パッケージプロダクト (修正情報) 3 データセンター利用 ・システムサーバーの管理
		システム保守 9月1日～ ・蔵書管理端末 3台 ・BM端末 1台 ・ハンディ端末 2台 読書手帳保守
	図書館専用ポータルサイト (TOOLi) の使用 図書情報の著作権を持つ書誌デー タダウンロードベースTRC マークの全 件検索ダウンロードができる	TOOLiスタンダード版 年間使用
クラウド化による図書館管理システム のライセンス使用	図書館管理システム(SaaS)ライセンスの使用 及びシステム導入	
図書館管理システムの導入	図書館管理システム一式の導入 読書手帳の導入	

## 参考資料

資料2 平成30年度 大樹町生涯学習に関する意識調査

## 平成30年度 大樹町生涯学習に関する意識調査（速報）

## 1 アンケート調査

## (1) 目的

「大樹町生涯学習推進計画」次期計画（平成31～35年度）を策定にあたり、現在の町民の生涯学習状況を把握し、意見を反映させるため、意識調査を実施することによって、次期計画がより住民の意識を踏まえた有効なものとなるよう役立てる。

## (2) 対象・方法

大樹町社会教育委員（10名）と教育委員会職員（10名）の協力を得て、大樹町民（高校生以上）200名に調査票を配布・回収した。

## (3) 回収率 77%

回答数 154人／配布数 200枚

## (4) 回答者内訳

## A-1 あなたの性別は

	回答数	構成比
男	52	33.8%
女	95	61.7%
無回答	7	4.5%
計	154	100.0%

## A-2 あなたの年齢は

	回答数	構成比
10歳代	4	2.6%
20歳代	27	17.5%
30歳代	20	13.0%
40歳代	29	18.8%
50歳代	21	13.6%
60歳代	31	20.1%
70歳代	20	13.0%
無回答	2	1.3%
計	154	100.0%

**A-3 あなたの職業は**

	回答数	構成比
学生	2	1.3%
会社員・公務員	69	44.8%
パート・アルバイト	33	21.4%
自営業	14	9.1%
無職	27	17.5%
無回答	9	5.8%
計	154	100.0%

**A-4 あなたのお住まいは**

	回答数	構成比
市内	118	76.6%
市外	26	16.9%
無回答	10	6.5%
計	154	100.0%

**A-5 ボランティア団体に所属していますか**

	回答数	構成比
はい	17	11.0%
いいえ	131	85.1%
無回答	6	3.9%
計	154	100.0%

**A-6 道民カレッジについて知っているか**

	回答数	構成比
はい	35	22.7%
いいえ	114	74.0%
無回答	5	3.2%
計	154	100.0%

(5) 主な調査項目と結果 (一部)

**B-1 この1年間に行った学習活動がありますか**

	回答数	構成比
複数	66	42.9%
1つ	39	25.3%
いいえ	45	29.2%
無回答	4	2.6%
計	154	100.0%

全道

68.9



**B2-1 B-1で①又は②と答えた方 どのような学習活動をしているか**

	回答数	構成比
音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など趣味的なもの	39	16.0%
文化、歴史、科学、英語などの語学など教養的なもの	23	9.5%
社会・時事、国際、環境など社会問題に関するもの	11	4.5%
健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など健康・スポーツに関するもの	51	21.0%
料理、洋裁、和裁、編み物など家庭生活に関するもの	26	10.7%
家庭教育、幼児教育、教育問題など育児・教育に関するもの	20	8.2%
知識の習得や資格の取得など知識・技能に関するもの	17	7.0%
プログラムの使い方、ホームページの作り方など情報通信分野に関するもの	9	3.7%
ボランティア活動に関するもの	30	12.3%
自然体験などの体験活動に関するもの	17	7.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	243	100.0%

**B2-2 B-1で①又は②と答えた方 どのような場所や形態で行ったか**

	回答数	構成比
公民館や生涯学習センターなどの公的な機関における講座や教室	36	15.9%
カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育	12	5.3%
学校（高等学校、大学、大学院、専門学校など）の教室や公開講座	16	7.0%
職場の研修	17	7.5%
同好会やサークル活動	32	14.1%
図書館、博物館、美術館	14	6.2%
テレビやラジオ	12	5.3%
情報端末やインターネット	19	8.4%
書籍など自宅での学習活動	37	16.3%
ボランティア活動など地域での活動	24	10.6%
その他	5	2.2%
無回答	3	1.3%
計	227	100.0%

**B2-3 B-1で①又は②と答えた方 身に付けた知識・技能や経験を仕事や職業で生かしている**

	回答数	構成比
生かしている	25	23.8%
どちらかと言えば生かしている	27	25.7%
どちらかと言えば生かしていない	12	11.4%
生かしていない	26	24.8%
無回答	15	14.3%
計	105	100.0%

全道

※50.6

※全道の調査には「どちらとも言えない」という項目があるため、示した数値に10%程度プラスされる。

**B2-4 B-1で①又は②と答えた方 身に付けた知識・技能や経験を資格の取得に役立てている**

	回答数	構成比
生かしている	13	12.4%
どちらかと言えば生かしている	14	13.3%
どちらかと言えば生かしていない	13	12.4%
生かしていない	48	45.7%
無回答	17	16.2%
計	105	100.0%

全道

※25.7

**B2-5 B-1で①又は②と答えた方 身に付けた知識・技能や経験をまちづくりやボランティア活動などに生かしている**

	回答数	構成比
生かしている	26	24.8%
どちらかと言えば生かしている	24	22.9%
どちらかと言えば生かしていない	12	11.4%
生かしていない	33	31.4%
無回答	10	9.5%
計	105	100.0%

全道

※40.7

**B2-6 B-1で①又は②と答えた方 身に付けた知識・技能や経験を子どもたちのための活動に生かしている**

	回答数	構成比
生かしている	32	30.5%
どちらかと言えば生かしている	22	21.0%
どちらかと言えば生かしていない	6	5.7%
生かしていない	33	31.4%
無回答	12	11.4%
計	105	100.0%

全道

※43.4

**B2-7 B-1で①又は②と答えた方 身に付けた知識・技能や経験を子どもたち以外の学習やスポーツ活動、文化活動などの指導に生かしている**

	回答数	構成比
生かしている	14	13.3%
どちらかと言えば生かしている	21	20.0%
どちらかと言えば生かしていない	16	15.2%
生かしていない	37	35.2%
無回答	17	16.2%
計	105	100.0%

全道

※31.8

**B2-8 B-1で①又は②と答えた方 身に付けた知識・技能や経験を自分の人生をより豊かにしている**

	回答数	構成比
生かしている	53	50.5%
どちらかと言えば生かしている	41	39.0%
どちらかと言えば生かしていない	3	2.9%
生かしていない	2	1.9%
無回答	6	5.7%
計	105	100.0%

全道

※83.6

**B2-9 B-1で①又は②と答えた方 身に付けた知識・技能や経験を自分の健康に役立てている**

	回答数	構成比
生かしている	40	38.1%
どちらかと言えば生かしている	32	30.5%
どちらかと言えば生かしていない	14	13.3%
生かしていない	11	10.5%
無回答	8	7.6%
計	105	100.0%

全道

※68.1

**C-1 現在の生活や生きがいについて、どのように感じているか。  
現在の生活に満足しているか**

	回答数	構成比
とても思う	39	25.3%
どちらかと言えば思う	88	57.1%
どちらかと言えば思わない	22	14.3%
全く思わない	2	1.3%
無回答	3	1.9%
計	154	100.0%

全道

※66.2

**C-2 現在の生活や生きがいについて、どのように感じているか。  
生きがいを感じて生活しているか**

	回答数	構成比
とても思う	41	26.6%
どちらかと言えば思う	80	51.9%
どちらかと言えば思わない	25	16.2%
全く思わない	2	1.3%
無回答	6	3.9%
計	154	100.0%

全道

※62.2

**D-1 大樹町の生涯学習の実態についてどのように思うか。  
学習した成果を生かす場がもっとあればよい。**

	回答数	構成比
とても思う	35	22.7%
どちらかと言えば思う	78	50.6%
どちらかと言えば思わない	30	19.5%
全く思わない	3	1.9%
無回答	8	5.2%
計	154	100.0%

全道

※57.7

**D-2 大樹町の生涯学習の実態についてどのように思うか。  
住民が自ら学習に取り組もうとする人が多い。**

	回答数	構成比
とても思う	8	5.2%
どちらかと言えば思う	77	50.0%
どちらかと言えば思わない	56	36.4%
全く思わない	5	3.2%
無回答	8	5.2%
計	154	100.0%

全道

※32.1

**D-3 大樹町の生涯学習の実態についてどのように思うか。  
自治会・町内会などの活動が活発に行われている。**

	回答数	構成比
とても思う	20	13.0%
どちらかと言えば思う	76	49.4%
どちらかと言えば思わない	50	32.5%
全く思わない	3	1.9%
無回答	5	3.2%
計	154	100.0%

全道

※45.1

**D-4 大樹町の生涯学習の実態についてどのように思うか。  
子どもたちが多様な体験活動をする場や機会がある。**

	回答数	構成比
とても思う	31	20.1%
どちらかと言えば思う	74	48.1%
どちらかと言えば思わない	35	22.7%
全く思わない	5	3.2%
無回答	9	5.8%
計	154	100.0%

全道

※53.4

**D-5 大樹町の生涯学習の実態についてどのように思うか。  
子どもたちの読書活動が充実している。**

	回答数	構成比
とても思う	15	9.7%
どちらかと言えば思う	70	45.5%
どちらかと言えば思わない	57	37.0%
全く思わない	2	1.3%
無回答	10	6.5%
計	154	100.0%

全道

※40.0

**D-6 大樹町の生涯学習の実態についてどのように思うか。  
子どもたちが異学年・異世代と交流する場が充実している。**

	回答数	構成比
とても思う	5	3.2%
どちらかと言えば思う	59	38.3%
どちらかと言えば思わない	74	48.1%
全く思わない	8	5.2%
無回答	8	5.2%
計	154	100.0%

全道

※28.5

**D-7 大樹町の生涯学習の実態についてどのように思うか。  
子どもたちや大人が気軽に集まる場が充実している。**

	回答数	構成比
とても思う	4	2.6%
どちらかと言えば思う	26	16.9%
どちらかと言えば思わない	84	54.5%
全く思わない	32	20.8%
無回答	8	5.2%
計	154	100.0%

**D-8 大樹町の生涯学習の実態についてどのように思うか。  
多くの地域住民が子どもたちの活動に関わりを持っている。**

	回答数	構成比
とても思う	6	3.9%
どちらかと言えば思う	47	30.5%
どちらかと言えば思わない	82	53.2%
全く思わない	10	6.5%
無回答	9	5.8%
計	154	100.0%

全道

※35.4

**D-9 大樹町の生涯学習の実態についてどのように思うか。  
家庭教育や子育てに関する学習・相談の機会が充実している。**

	回答数	構成比
とても思う	10	6.5%
どちらかと言えば思う	54	35.1%
どちらかと言えば思わない	66	42.9%
全く思わない	15	9.7%
無回答	9	5.8%
計	154	100.0%

全道

※27.3

**E-1 地域にある課題として、関心のある学習テーマはあるか。**

	回答数	構成比
複数	110	71.4%
1つ	33	21.4%
特になし、わからない	9	5.8%
無回答	2	1.3%
計	154	100.0%

**E2-1 E-1で①又は②と答えた方 関心のあるテーマは何か。**

	回答数	構成比
防災・防犯に関すること	48	12.8%
環境保護に関すること	23	6.1%
子育て・家庭教育支援に関すること	51	13.6%
青少年の健全育成に関すること	24	6.4%
世代間交流に関すること	30	8.0%
健康（保健・医療・福祉）に関すること	56	14.9%
少子高齢化に関すること	34	9.1%
地域の歴史・文化・自然に関すること	26	6.9%
まちづくり・地域づくりに関すること	58	15.5%
人権に関すること	0	0.0%
男女共同参画に関すること	2	0.5%
国際交流に関すること	22	5.9%
その他	1	0.3%
無回答	0	0.0%
計	375	100.0%

**F-1 地域活動についてどのように考えているか。  
学校教育を支援する活動。**

	回答数	構成比
参加したことがあり、今後も参加したい	43	27.9%
参加したことがないが、今後は参加してみたい	61	39.6%
参加したことがあるが、今後は参加したくない(参加できない)	7	4.5%
参加したことがなく、今後も参加したくない	27	17.5%
無回答	16	10.4%
計	154	100.0%

**F-2 地域活動についてどのように考えているか。  
子育てなど日常生活で困っている人を支援する活動。**

	回答数	構成比
参加したことがあり、今後も参加したい	14	9.1%
参加したことがないが、今後は参加してみたい	89	57.8%
参加したことがあるが、今後は参加したくない(参加できない)	11	7.1%
参加したことがなく、今後も参加したくない	28	18.2%
無回答	12	7.8%
計	154	100.0%

**F-3 地域活動についてどのように考えているか。  
まちづくりや災害などを支援する活動。**

	回答数	構成比
参加したことがあり、今後も参加したい	22	14.3%
参加したことがないが、今後は参加してみたい	85	55.2%
参加したことがあるが、今後は参加したくない(参加できない)	6	3.9%
参加したことがなく、今後も参加したくない	32	20.8%
無回答	9	5.8%
計	154	100.0%

**F-4 地域活動についてどのように考えているか。  
自然保護、リサイクル運動などを支援する活動。**

	回答数	構成比
参加したことがあり、今後も参加したい	19	12.3%
参加したことがないが、今後は参加してみたい	79	51.3%
参加したことがあるが、今後は参加したくない(参加できない)	11	7.1%
参加したことがなく、今後も参加したくない	33	21.4%
無回答	12	7.8%
計	154	100.0%

**G-1 機会があれば再び学んだり活動したりしたいことがあるか**

	回答数	構成比
複数	97	63.0%
1つ	29	18.8%
特にない	20	13.0%
無回答	8	5.2%
計	154	100.0%



G2-1 G-1で①又は②と答えた方 どんなことをしたいか。

	回答数	構成比
音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など趣味的なもの	63	17.4%
文化、歴史、科学、英語などの語学など教養的なもの	39	10.8%
社会・時事、国際、環境など社会問題に関するもの	15	4.1%
健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など健康・スポーツに関するもの	67	18.5%
料理、洋裁、和裁、編み物など家庭生活に関するもの	44	12.2%
家庭教育、幼児教育、教育問題など育児・教育に関するもの	24	6.6%
知識の習得や資格の取得など知識・技能に関するもの	35	9.7%
プログラムの使い方、ホームページの作り方など情報通信分野に関するもの	25	6.9%
ボランティア活動に関するもの	26	7.2%
自然体験などの体験活動に関するもの	24	6.6%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	362	100.0%

H1 生涯学習を勧めていくにあたり、御意見・御希望などございましたら、御自由にお書きください。

	回答数	構成比
記述有り	23	14.9%
無回答	131	85.1%
計	154	100.0%

1	自らの問題として考えている。
2	寿大学の送迎について セブンイレブンか奈良精肉店の前にでもバス停があればうれしいです。
3	低額なら料金を支払い学習活動に参加したほうがよい。教える側も学び側も緊張感が出ると思う。無料だとどうしてもいい加減になってしまう気がする。
4	スポーツ施設の充実…野球場とソフトボール場、テニスコートの照明を3か所同時に使用する際の制限があり、不便さを感じる。そのため、少年団活動を小学校の校庭を使用しているため、そちらの照明の設置をお願いしたい。冬期間の屋外スポーツができる施設の充実を図ってほしい。
5	B&G海洋センターにあるカヌーの破損が見られるので、新しいカヌーがあると助かります。
6	冬期間の室内施設がない。テニス・野球場・ソフトボール場の照明が2か所しか使えない決まりはいらない。B&Gの施設が平日一般が使えないので、使える施設が必要。町民から出る意見を検討で終わらせるのではなく、実現させること、それであればこの調査も意味がない。

7	南体験長期宿泊体験は、自分のまちを体験するのに金額が高額すぎる。安価に設定し多くの小中学生に体験してもらおうべきだと考える。遊びの中で、お兄さんお姉さんの人から学び、安全や危険を学び機会が激減している。高校生を先生に小学生を指導する場が必要。 大樹町には、人が集まる場所(遊具や遊ぶところ)がない。大人も集まりやすい場も。
8	誰でも行けるスポーツジムのような施設があればうれしいです
9	大人も子供にも「読書会」があればよい。同じ本を読んで、他人の意見や考え方を聴くのは、実り多いと思います。特に子供に読書サークルがあれば様々な意見を持つ大人になると思います。
10	教育委員会の方々のお導きにより協力させていただけることがあれば、自分自身のためにも参加していきたいと考えております。
11	とにかく時間がありません。子どもの預け先や働き方などの面から変えられないと生涯学習に時間を割くことは難しいと感じています。
12	プールでエアロビクスのようなものやってほしい
13	核があってもいいのでは
14	ワーキングスペース(自習室)の充実・時間遅くまで開設
15	施設やハード面に拘わらず、既存のものを活用しながら気軽に声をかけ合い参加できる枠組みづくりが必要
16	各教室が高齢で参加者が少なくなっています。若い人たちの参加を希望します。
17	生涯学習をするにあたり、核家族では子供を見る人が親のみで、もっと身近に子供を遊ばせる施設があれば、学習をする時間もとれるようになると思います。
18	サークル・団体などに入っていないと自由に集まっていくところが近くにない。子供、学生、大人も町内会活動に参加しない人がいるが、無理にすすめられない。年齢が進んでくると、歩いて市街のほうにいられないので、何かいい方法は?と思う。
19	今の子どもたちに学習(勉強)だけではなく、マナーなども指導してください。
20	子育て世代では、子供中心でなかなか自分が学ぼうと思えない。(余裕や時間がないなど)と思うのですが、子供と一緒にできる教室や体験があれば、参加する機会も増えるし、参加しやすいかなと思っています。 他町(更別の熱中とか)で実施している年間通してのプログラム、大人が楽しく学べるものがあるといいなと思います。講義や体験などを通して仲間づくりにもつながっていくもの、今後の趣味や生きがいにつながっていくものを希望します。
21	活力あるまちづくりをすすめてほしい。
22	教育委員会が主体的となった学習活動がもっとあってもよい
23	学習情報の提供など充実してほしい。小さい町だが広く活動を開放している団体など学んだことを活かせる人たちなどの情報がわかるしくみ、HP等があればよいと思う。

# 大樹町社会教育委員会名簿

No.	役職名	氏名	摘要
1	委員長	佐藤征夫	大樹町体育連盟代表
2	副委員長	岩崎教之	保護司
3	委員	山下勇	大樹小学校長
4	委員	金田英司	大樹高等学校長
5	委員	木戸清美	主任児童委員
6	委員	田口礼造	大樹町文化協会代表
7	委員	山田信子	大樹町女性団体連絡協議会代表
8	委員	梶澤明宏	大樹町PTA連合会代表
9	委員	杉村直輝	大樹町日方川太鼓保存会代表
10	委員	加藤美幸	大樹町商工会女性部代表

平成 31 年（2019 年）3 月

発行：大樹町教育委員会社会教育課

〒 089-2132

大樹町双葉町 6 番地 1 大樹町生涯学習センター内

電話 01558-6-2133 F A X 01558-6-2056